

平成 31 年度 教育総合研究所の運営構想

第 2 次 学校教育振興計画 基本理念	未来と夢に希望をもち、今をひたむきに生きる子どもの育成と実現
---------------------------	--------------------------------

平成 31 年度 学校教育の指導の 方針	◎安心感の中で、児童生徒一人一人が「分かる」「できる」「のびる」喜びを実感できる指導を通して、生きる力を育てる。 ◎学校の教育目標を具現するため、児童生徒や地域の実態を踏まえた自立的・主体的な学校経営を全教職員で推進する。
----------------------------	--

	教職員支援グループ		児童生徒支援グループ	
	研究・研修	教育情報	教育相談	少年支援
中期的 目標	教育の今日的な課題に関心を持ち、教師力の向上をめざして研修会に参加し、学んだ内容を、児童生徒の指導に還元できる教職員の育成	時代や整備環境に応じて ICT 機器を活用した授業実施や情報モラル教育を日常的に推進する教職員の育成	家庭や学校と連携を図り、訪問相談やケース会議を開催する等、不登校児童生徒の未然防止及び早い段階での対応	学校・家庭への訪問や地域巡回、情報交流の実施を通じた問題行動の早期対応

本年度の 重点と 方策	○訪問型悉皆研修の充実 (だれもが研修①②) ・個別の対応について指導、全体での協議、演習による「児童生徒理解」 ・即実践に生かせる模擬授業と講話による「特別の教科 道徳の指導と評価」 ○訪問型希望参加研修の充実 (これから研修) ・「個人」「チーム」等、柔軟な形態での実施 ・課題、力量に応じた ALL 市教委による指導体制の整備 ○集合型希望参加研修の充実 (夏季研修講座等) ・演習を多く取り入れた即実践につながる研修 ・「実際を楽しむ」場の開拓	○ICT 機器を活用した授業の充実 ・プログラミング教育の推進 (研修の充実と研究会による実践事例の提案) ・タブレット端末の活用事例の紹介や授業支援を中心とした ICT 支援員の配置 ○情報モラル教育の推進 ・情報モラルウィークを活用した情報モラルの家庭での約束作り ・保護者への情報モラル教育の啓発 (PTA 活動や授業参観等を活用した外部講師による情報モラル講座の位置付けの提案)	○不登校の未然防止 ・過去 3 年間の欠席状況等の分析と活用法の提案 ・1 学期欠席 10 日以上の子どもの対応相談の実施 ・学校が考案した 3 日連続欠席時の家庭との連携手段の啓発 ・3 日連続欠席した児童生徒の対応相談 ・長期休業前中後の不登校対策の提案 ○不登校の早期対応・学校復帰 ・ネット依存への対応相談 ・個々の状況に即した対応策の提案 (相談室経営・SC との連携・SSS の活用) ・集団や社会への適応力を培うための適応指導教室運営 (SST・公共交通機関の利用活動等の充実)	○落ち着きを失う児童生徒や教室に入れない児童生徒に早期対応するための学校支援訪問 ・学校からの情報をいかしたいじめ事案・問題行動の見守り ・児童生徒を認め励ますメッセージと声かけ ・児童生徒の対応についての具体的な手立ての助言 ○より効果的な個に応じた支援の実施 ・児童生徒の状況に即した SSS 支援員・少年相談員の配置 ・目指す姿を明確にした支援 ・発達の特性に即した支援方法の工夫・SST 等の実施 ・学校・家庭・地域・関係諸機関とのさらなる連携 ・研究所の支援内容の保護者への理解促進
	考え議論しながら気付き、実践しながら身に付ける AL 型研修の充実		一人でも多く教室復帰できるための 子どもの状況に即した支援体制の充実	

評価 指標	・重点研修の内容について「大変よかった」と回答する教職員の割合 70% ・重点研修について、研修後に具体的な指導の見通しがもてたり指導に生かされたりする教職員の割合 100% ・QU 調査結果において、「満足群」にプロットされる児童生徒の割合 55%	・ICT 調査において B, D の項目でできる、ややできると回答する教職員の割合を 90%にする (平成 31 年度までに) ・岐阜県情報モラル調査の家で携帯電話の利用の仕方を決めていると回答した児童生徒 70% (平成 32 年度までに)	・新規不登校児童生徒数を小学校 45 人以下、中学校 75 人以下にする。 ・30 日以上欠席の児童生徒数を小学校で 50 人以下、中学校で 130 人以下にする。	・改善目標人数 学級内支援 32 人以上 校内別室支援 16 人以上 登校支援 7 人以上 ・学校アンケートの SSS 事業の評価を 4.5 以上にする。
----------	---	--	---	---

基本 目標 との 関連	2 (1)②「ふるさと大垣科」の推進 2 (2)①道徳教育の充実 3 (1)③特別支援教育研修会の実施 5 (1)①若手教員の育成 5 (1)②学級経営力の育成 5 (1)③だれもが研修の活用	1 (2)① ICT 機器を活用した授業の推進⑦ 4 (1)② 情報モラル教育の充実⑦	4 (1)③ 不登校や問題行動の未然防止と対策の充実⑦⑧⑨	4 (1)③ 不登校や問題行動の未然防止と対策の充実⑦⑧⑨
----------------------	---	--	----------------------------------	----------------------------------

